



## 取組紹介

### ダイバーシティ推進本部が設置されました **速報!**

多様な属性を持った人材が本学の人的資源として活躍できるような支援をおこなうため、法人に「ダイバーシティ推進本部」が設置されました（平成 28 年 10 月 11 日）。本学全体で男女共同参画や働き方改革をはじめとしたダイバーシティの取組を進めていけるよう、医師・学生・研究者支援センターも本部員として活動していきます。

### 保育環境の整備

働きやすい職場には、出産後の復職などを後押しするために保育環境の整備が不可欠と考えて、支援センターでは「育児支援ワーキンググループ」が活動しています。まだまだ足りない本学の保育環境ですが、職員みなさんの「今困っていること」を拾い上げて、大学や病院（人事課など）と相談しながら、育児中の職員が必要な支援などを少しずつでも増やし、また現在使える保育サービスを周知していきたいと考えています。



**NEW! 第 2・4 土曜日直で院外託児所『リトルメイト』が平日料金で利用可能に**  
平成 28 年 8 月から「第 2・4 土曜の日直者用には院外託児所『リトルメイト』が平日料金で利用可能」になりました。定員は 2 名（未就学児）、申込みは先着順で前々月の 1 日から人事課で受付けています。ライフイベント中の女性医師の方は毎日が大変かと思いますが、日直の担当をしていただくと職場の同僚にも大変歓迎されると思います。常勤になるには日直や当直をしてもらいたいと言われている職場もあり「日直だけでもやろうと思うが、週末に子供を預ける先がない」という声にこたえて始まりました。ぜひ職場と相談して活用して下さい。



● 今後も皆さまの希望などを拾い上げて、大学や病院と相談していきたいと思しますので、支援センターまでご相談やご意見を寄せていただければと思います。

● 「リトルメイト」の利用については、大学病院人事課までお問い合わせください。

### 外部メンター、国際メンターの就任

若手女性研究者、入職後 3 年未満の女性教員の支援として、平成 26 年度から運用を始めていました東京医科大学メンター制度に新たに、外部メンター、国際メンターをお迎えすることができました。

現在、内部メンターは 19 名で、仕事と家庭の両立や東京医科大でのネットワーク構築、研究相談などに大きな支援となっています。

利用を希望される方は支援センターまでお申し込みください。メンター制度の詳細は HP でご確認いただけます。

<http://kenkyu.tmu-shien.com/system/mentor.html>

### 女性研究者の積極的応募を歓迎しています

本学の教員公募では、「東京医科大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。」と付記されるようになりました。（平成 28 年 7 月に役員会で承認）

女性教員の採用率、在職率上昇を進めていきます。



#### 共に“結び”ませんか？

基礎医学と臨床医学を結び、国境を越えて医師・学生・研究者を結ぶことを目指し、東京医科大学キャンパス分子病理学、医師・学生・研究者支援センター、韓国国立慶北大学 (KNU) 内科を兼任しております。

結びの輪を共に繋いでいけましたら幸いです。

真村 瑞子(医師・学生・研究者支援センター / 分子病理学分野 教授)



# 活動報告



## 医師を目指す中高生と保護者のための講演会

平成 23 年度から開催している「医師を目指す中高生と保護者のための講演会」は、年々、申し込みが増え、今年もマスコミでも取り上げられ 250 名の申し込みをいただきました。

本学は、内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組「リコチャレ(理工チャレンジ)」の応援団体に登録・紹介されており、理工系分野に興味がある女子中高生・女子学生が、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援しています。

今年には川瀬 和美先生(東京慈恵会医科大学 准教授)に女性がワーク・ライフ・バランスをどのように整え、チャレンジしていくとよいのか、ご自身の歩んできた道の紹介を交えて御講演いただきました。また、本学微生物学分野 主任教授の松本 哲哉先生には、感染症についての模擬授業を行っていただきました。

女子中高生の参加が半数を超えており、夢に向かって、次世代の医師・研究者がたくさん活躍してくれることを期待しています。

## 研究力アップ & セルフマネジメント研修

支援センターでは、月に一度のペースで、女性医師・研究者の研究力の向上を目的とした研修を開催しています。

平成 28 年度は本学では過去最高となる科研費を獲得し、女性研究者の応募者、採択者も過去最高人数となりました。

7/29「医学研究における基礎と臨床とその間～筋疾患研究を通じて」  
林 由起子先生(病態生理学分野 主任教授)

8/19・9/23「英語論文読み書き、プレゼンテーション力を上げよう！」  
ポピエル・ヘレナ・明子先生(国際医学情報学分野 助教)

10/5「科研費の獲得をめざして」  
持田 澄子先生(細胞生理学分野 教授 / 医師・学生・研究者支援センター副センター長)



## 女子医大・東京医大ファミリーサポート登録・相談会



本学では、平成 26 年 5 月から病児保育やお泊り保育を含む多様な一時預かり保育制度「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を運用しています。

利用相談や利用登録会を開催しますので、お申し込みの上、ご参加ください。

平成 28 年 11 月 1 日(火)、7 日(月)、8 日(火)、14 日(月)、15 日(火)、25 日(金)、28 日(月)、30 日(水)

### 私も利用しています

依頼会員となって、早 1 年 6 か月が過ぎました。会議や講義などで帰宅が遅くなる時は、必ず利用させていただいています。子供たちの祖父母は遠方、夫は夜中まで残業という家庭事情の中、私たち家族の生活を支えてくれているのは、ファミサポ室の皆様のご協力のおかげだと心より感謝しています。依頼会員となるべく、初めてファミサポ室を訪れたときは、3 歳の長女と 0 歳 4 か月の長男を抱え、多くの負担と疲労を抱えていました。しかし、会員登録して 1 週間、コーディネーターの村田さんが提供会員のご紹介、事前打合せ、初依頼とスムーズに進めてくれ、疲弊していた生活が変わりました。提供会員さんは常に子供たちの成長を促す関わりをしてくれると同時に、子育てと仕事の両立に負担を抱えていた私に安心感を与えてくれました。ファミサポ室の利用を始めてから、仕事から遅くなって帰宅した私を待っているのは、提供会員さんの「おかえりなさい。お疲れ様でした。」の優しい言葉と子供たちの笑顔です。ファミサポ室の皆様のご協力とご配慮に深く感謝しております。

西村 礼子(看護学科 助教)



## 今後の予定

ご参加をお待ちしています！ 詳細は支援センターHPでご確認ください

### ◆研究力アップ研修

「採択される臨床研究をめざして～Limitationの重要性」

日時：11月28日(月)

17:30～18:30

場所：教育研究棟3階  
会議室 A

講師：磯村 達也 先生

(医学総合研究所 臨床研究  
コンサルテーション部門 兼任講師)

### ◆研究力アップ研修

「臨床医による基礎医学研究」

日時：1月13日(金)

17:00～18:00

場所：教育研究棟5階  
第1研修室

講師：真村 瑞子 先生

(医師・学生・研究者支援センター/  
分子病理学分野 教授)

### ◆研修

「相談場面のコミュニケーション～臨床実践の関わりから～」

日時：12月20日(火)

16:00～17:00

場所：教育研究棟5階  
第1研修室

講師：村越 晶子 先生

(メンタルヘルス科 助教)

### ◆研究力アップ研修

「臨床研究の魅力とその進め方～病態の原因究明とウイルスの研究」

日時：1月19日(木)

17:00～18:00

場所：教育研究棟5階  
第1研修室

講師：柏木 保代 先生

(小児科学分野 准教授)



東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター

TEL：03-3342-6111(内線 2044・2047) FAX：03-3342-9351

E-MAIL：ishi-s@tokyo-med.ac.jp URL：http://www.tmu-shien.com/

